

たつの市ヒガシマル醤油工場見学と龍野城下町散策

旅程とスケジュール：2018年6月22日（金）8：00 垂水駅西口集合

8：09 JR西明石行きに乗車⇒8：26 明石発新快速に乗換、姫路駅へ

9：08 姫新線に乗換⇒本竜野駅下車

10：00～11：30ヒガシマル醤油第一工場見学、以後龍野公園まで徒歩で移動、昼食後

龍野城下町を散策、15：30本龍野発 姫新線姫路経由、JR垂水駅で解散。

見学の見どころ：揖保川沿いの「播磨の小京都」と言われる脇坂藩五万三千石の城下町を訪ねる。

午前中はヒガシマル醤油工場を見学し、昼食に龍野の名産「揖保の糸」そうめんを堪能し、龍野城・武家屋敷等城下町を散策。



新しくなった姫新線の本竜野駅 提供：google より

サイトマップは提供：ヒガシマル醤油工場のホームページより



播州平野を横切る揖保川 提供：ヒガシマル醤油工場のホームページより

ヒガシマル醤油の前身は、浅井醤油。起こりは、明治維新藩からの払い下げをきっかけに、直営の醤油醸造所の「物産蔵」が(東蔵)と呼ばれていたことが由来であったとのこと。

またトレードマークは、「社運が旭日昇天の勢いなかれし」のねがいを込めての発想だそうです。

(紹介：ヒガシマル醤油ホームページより)



揖保川沿いのヒガシマル醤油工場の外観
提供：google より



目標となるヒガシマル醤油工場の煙突 提供：google より

目標となる、第一工場の煙突写真



垂水マスターズクラブのメンバー総勢18名での工場見学でした。今回は工場内の撮影は禁止となっておりましたので集合写真がメインです。紹介の写真等は、当社のホームページや閲覧google などからの提供です。

龍野城資料館をおとすれました。

たつの市は、兵庫県南西部の播磨地方に位置しています。「播磨の小京都」呼ばれるのは、今も武家屋敷、寺院などが点在し、城下町の面影をとどめているからなのです。もう一つ忘れてはならないのが、日本で最も愛唱されている童謡「赤とんぼ」の作詞者“三木露風（みきろふう）”の誕生の地であることから、昭和59年（1984）に龍野市（現たつの市）を「童謡の里」と名付けております。



三木露風（みきろふう）の生家。

やはり白壁の館でした。



提供： たつの市立龍野歴史文化資料館写真 by google



旧脇坂屋敷を訪れてみました。静かな落ち着いた小
京都城下町「龍野」のシンボルイメージを作り上げ
ている古き佇まいが眺められます。訪れてみて、
白亜の白壁なども心のふるさと龍野の象徴と感じ
ました。

提供： たつの市立龍野歴史文化資料館写真 by google



龍野城で記念撮影。

幕末のたつの市街は、丸亀藩や姫路藩等々多数の領主に分かれた複雑な地域と言われて

いたようですが、それぞれの領主は新しい生

き残りをかけて戦い抜き、そして、最後の殿

様となったのは脇坂安斐(やすあや)で大政

奉還後は、室津港の警護を経て、龍野藩知事

に明治政府から任じられたとのこと。



提供：たつの市立龍野歴史資料館の配布資料より